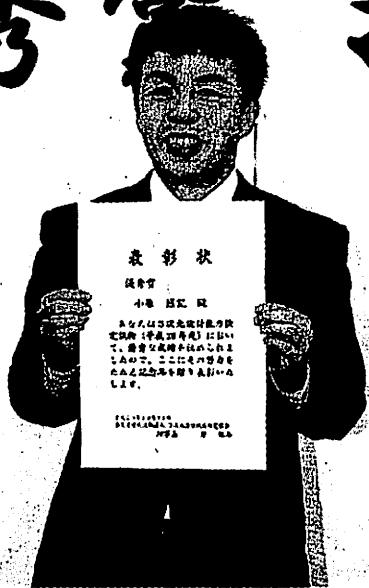


2008年(平成20年)11月8日(土曜日)

設計能力 秀賞 授

3次元設計の 『卵、羽ばたく』

北上の小原さん



検定(NPO)で優秀賞

研修生では全国初

北上市口内町の小原照記さん(25)は特定非営利活動法人(NPO法人)三次元設計能力検定協会の検定試験で優秀賞を獲得した。同市などで構成する北上川流域地域産業活性化協議会の人材養成事業の受講生で、企業実務者以外の教育訓練機関研修生では全国初の快挙。同協議会関係者は「授業内容のレベルの高さを証明する賞だ」と喜びを新たにしている。

同市相去町の北上高等職業訓練校で七日、授与式が行われ、小原さんが表彰状を受け取った。
検定試験は八月二十八日に実施し、実技(百五十点)と学科七科目(各五十点)の五百点満点。計四百点以上に
三次元設計能力検定試験で難関の優秀賞を獲得した小原照記さん

優秀賞が与えられる。全国では本年度約五百五十人が受験、小原さんは四百十三点で、社会人一人とともに優秀賞に輝いた。
小原さんは岩手大工学部卒。三次元コンピュータ利用設計システム(CAD)を学んだ経験はなかったが、

団体職員などを務めた後、五月下旬から三カ月間学んで受験した。二〇〇九年内に北上市に設計部門を新設する河西工業(自動車内装部品製造、東証一部上場)子会社の河西テック(神奈川県)への就職が決定し、二十五日から学んだ知識を生かす。

小原さんは「四百点を目標に勉強してきたが、講師の指導や受講生の支えのおかげで結果を出すことができ、非常にうれしい。地元
に育てられたので将来は地域貢献して恩返ししたい」と意欲を新たにしている。
講座を開いている北上市三次元ものづくり革新プロジェクト推進室の三浦範和統括責任者は「毎週休まず、夜遅くまで頑張った成果だと思う」と評価。
斎藤伸同協議会事務局長は「かなりレベルの高い賞で講座主催者としても喜ばしい。これから学ぶ研修生の励みにもなる」と喜びを語る。